

常任委員会

本会議で各常任委員会に付託された議案について慎重に審査しました。主な質疑をお知らせします。各委員会の所管事項（平成27年3月現在）は次のとおりです。

- 総務常任委員会：市長政策室、総務部、地域創造部、会計室、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員の所掌に属する事項及び他の常任委員会の所掌に属しない事項
- 文教常任委員会：人権文化部、教育委員会の所掌に属する事項
- 民生常任委員会：市民部、健康福祉部、市立病院の所掌に属する事項
- 建設水道常任委員会：みどりまちづくり部、消防本部、上下水道局、競艇事業局、農業委員会の所掌に属する事項

注：市長政策室は、本年4月より市政統括となりました。

■総務常任委員会

条例5件、予算4件、その他1件について審査しました。

地方創生先行型交付金

活用事業について

問 観光促進事業の概要は。
答 来街者が満足できるような新しい観光スタイルを作り出していく。

問 箕面観光ホテルに来訪される外国人を含めた多く

プレミアム商品券

発行事業について

問 商品券の概要は。

答 国の交付金を活用し、500円券24枚つづり1セ

ットを一般向けには1万円、多子世帯向けには8千円で購入する。

問 PR方法や効果検証についての考えは。

答 4月から市広報紙、ホームページ並びに商工会議所を通じてPRしていく。また、本事業の効果を分析する観点から、事業終了後に利用者にアンケートを実施する予定である。

問 地域の商店の振興を後押しするための連携方策は。

答 地域商店街重視の姿勢のもと、商品券の販売場所を商店会連合会加盟店に協力を求めるなど、市民が使いやすい環境の整備に向けて努力していきたい。



ふるさと寄附金推進

事業について

問 全国で、ふるさと納税

者への高額返礼が加熱傾向にあるが、本市の対応は。

答 本市を応援していただきながらかたに寄附をお願いすることを基本とし、節度は必要と考えている。さいなことだが、お礼のメールは必ず送り、返礼品の見直しも節度を持って行っている。

■文教常任委員会

条例6件、予算2件、その他1件について審査しました。

箕面市いじめ防止

対策推進協議会条例制定について

問 重大事態調査部会はどういうときに動き出すのか。

答 いじめ問題等調査部会の調査で重大事態に当たり、市長が、再調査が必要と判断すれば召集される。

問 重大事態の事例とは。

答 いじめにより、児童・生徒の生命、心身、財産への重大な被害や、相当期間の欠席などの疑いがあるときを想定している。

問 協議会設置により対応の体制に影響はないか。

答 無記名調査やいじめ報告シートにより未然防止、早期対応に全力を尽くす。

保育士確保対策支援

事業について

問 事業の概要は。

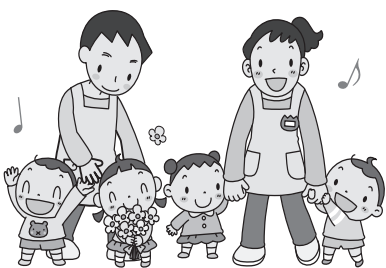
答 将来、市内の認可保育所などで働く予定の学生に在学中の学費などの貸し付けを行う。

問 応募が募集人数を超えた場合の対応は。

答 市内在住者を最優先にするなど一定の基準で選考を行いたいと考えている。

問 対象を包括協定などの締結校の在學生に限定しているが拡大する考えは。

答 市民で保育士をめざす学生を支援する観点から、提携大学以外の学生でも市内在住ならば対象としたい。



英語教育強化事業

について

問 教員の英語指導力向上への英語指導助手の活用は。

答 英語指導助手による研修や模擬授業などで、教員の英語力、指導力の向上をはかっていきたい。

問 英語指導助手の採用にあたり市は責任を持って面接などができるのか。

答 採用にはJETプログラムを活用する。大学教授などの専門家が面接を行い、一定の質の確保はできると考えている。

※JETプログラム：総務省をはじめ関係省庁、団体が連携し語学指導などを行う外国青年招致事業のこと。

民生常任委員会

条例8件、予算10件、請願1件について審査しました。

介護保険料に関する

請願について

問 保険料の見直し内容は。できる限りの抑制策を講じたが、超高齢化社会に

対応し、介護保険制度を維持するため引き上げを行う。

問 本市の所得段階区分は負担の公平性から国より細かいが、請願者の考えは。

答 (請願者) 一定評価しているが、本当に困っているかたの声を反映し、本市独自の減免をしてほしい。

問 請願にあるように、一般会計からの繰り入れによる保険料の引き下げはできないのか。

答 介護保険制度は、もともと公費と保険料半分ずつの負担で制度設計されている。制度上予定されていない税金の投入は困難であるため、全ての被保険者の所得水準に応じた保険料の負担が不可欠と考える。

問 国の制度自体を見直す必要があるのでは。

答 毎年国に、大阪府市長会を通じて制度の抜本的見直しを要望している。

合葬式墓地について

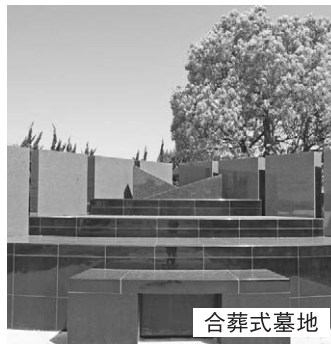
問 身寄りのないかたなどによる生前予約の対応は。

答 承継者がいない場合、葬儀を執り行う予定のかた

などの情報で受け付ける。予約がなくても誰かの申し込みがあれば対応する予定。

問 合葬式墓地のニーズは。

答 承継者がいない、子どもに墓の管理を委ねるのは申し訳ないという理由で改葬される事象が増えており、ニーズはあると考えている。



ペットボトルの

全戸回収について

問 全戸回収を始めた場合、スーパリーなどで実施している拠点回収は継続するのか。

答 拠点回収の継続を望む声もあるので、当分の間、継続し、その回収状況を見て判断したい。

建設水道常任委員会

条例3件、予算9件、その他1件について審査しました。

所有者不明猫不妊等 手術事業について

問 本事業の改善に向けての取り組み内容を問う。

答 獣医師会に所属する病院で処置済み猫を示す耳のV字カットができることとなったが、獣医師会では法令などを踏まえ、V字カットよりも地域猫の把握方法としてマイクロチップの装着が最適とされており、持ち込み猫に対しては費用を転嫁せずに装着されている。

農業公社について

問 学校給食での箕面産野菜利用拡大に向けた現況は。

答 農家への毎月の戸別訪問で生産見通しを聞き取った上で、余すことのないように栄養士が箕面産野菜をベースに献立作成している。

問 野菜の受け入れ体制は。

答 農家が新鮮な野菜をいつでも給食へ出荷できるように、まずは、各中学校に低温貯蔵庫の設置を進める。

問 経営計画(改訂版)の活用の方針は。

答 健全経営だけでなく、

耕作者が目標を定めて一丸となり、組織活性化をはかるためのものと考えている。

問 耕作者がやりがいを持つための取り組みは。

答 毎週市と公社の耕作者で合同ミーティングを実施し、意見を聞きながら、やりがいにつながるような視点を持つて対応している。

彩都なないろ公園

について

問 ダブルフリーフォール滑り台の雨天時の対応は。

答 ぬれているときは滑らないように啓発張り紙をしている。

問 5・5メートル滑り台は10歳以上専用と聞いているが、実際は幼稚園児も滑っている。配慮が必要では。

答 実物大の身長制限を示した看板の設置を検討している。

